



資料生電13-2

ICNIRP国際ガイドラインおよび IEEE/ICES規格の動向

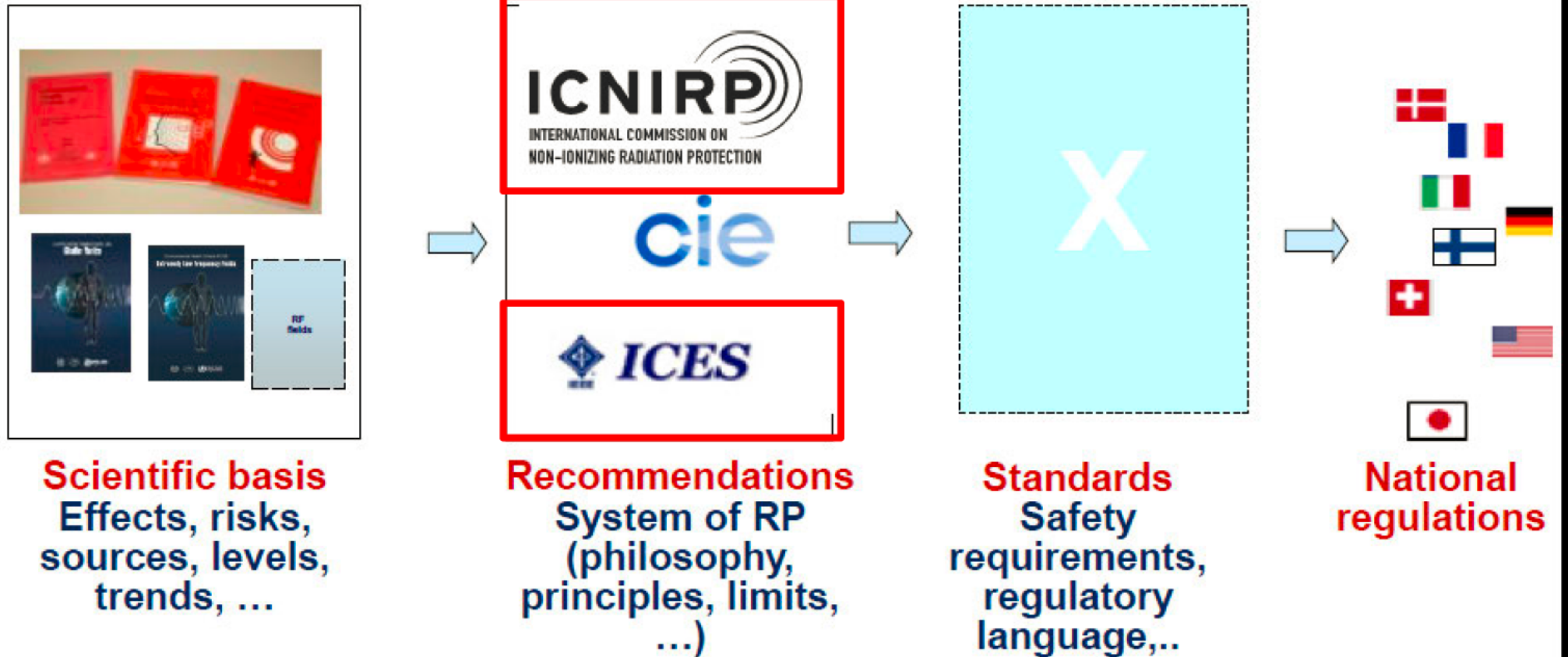
平田 晃正

名古屋工業大学

WHOによる非電離放射線防護の展望

van Deventer氏 (ICNIRP Workshop May 2016)より

<http://www.icnirp.org/en/workshops/article/workshop-nir2016.html>



- ・両ガイドラインが根拠としている健康影響は基本的に一致。
- ・ICNIRPとIEEEのガイドラインの不整合が問題となっていたが、最近では整合しつつある。

ICNIRPガイドラインに関する動向



○関連ワークショップ

2016年5月 8th International NIR Workshop

2015年5月 Thresholds of Thermal Damage

2014年11月 RF Fields Health Effects & Standards

○高周波ガイドラインについて

2016年12月以降

ICNIRP HF Guidelines (Public Consultation)

関連情報の公開

2016年5月 ICNIRP Workshop (R. Matthes議長)

2016年6月 MMF Workshop (E. van Rongen議長)

○低周波(中間周波含む) Data Gapについて議論中

IEEE ICES規格の動向



毎年1月と6月に会合
電話会議(不定期。最近は1~2回/月)

2017年1月 Subcommittees 4(高周波規格)および6(ドシメトリモデリング)で6GHz超周波数帯の議論に関するセッションを予定。2016年6月にも議論有。

2018年以降 低周波、高周波統合規格

*2014年 IEEE C95.1234 =NATO Standard (軍のみならず、その居住区の一般市民に適用)

Low Frequency Research Agendaを公表(2016年6月)